

行政視察等報告書

令和2年2月10日

米子市議会議長様

会派名 政英会

代表者氏名 岡田啓介

提出者氏名 戸田隆次



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	戸田隆次
期日	令和2年2月4日から令和2年2月5日まで
〔概要〕(年月日・場所・内容) 日程 令和2年2月4日 移動 令和2年2月5日 午前10時～午後4時30分 「成功する公共施設マネジメント」 「公会計改革と公共施設との緊密な関係」 会場 メルパルク京都(京都市下京区東洞院七条下ル東塩小路町676番13)	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 62,702円

報 告 書

1. 日時 令和2年2月5日 10時～16時30分

2. 場所 メルパルク京都

3. 研修内容

(1) 「成功する公共施設マネジメント」

(2) 「公会計改革と公共施設との密接な関係」

4. 「成功する公共施設マネジメント」

・「拡充」から「縮充」へ

・機能ベースの施設再編成

1) 公共施設とは

・定義があいまいな「公共施設」

・明確な定義は「公の施設」

・住民の福祉を増進する目的を持ってその利用に供する施設

・条例で利用目的、時間、料金などを規定

・市役所の「課」ごとに管理運営されてきた

・「公の施設」かどうかの判断は自治体の裁量

・稼働時間は非常に少ない（特に屋外プール）

・公立図書館の利用者は地域住民の1割程度にすぎない

・無人図書館事業（台湾で運営されている）の活用

・身近なスポーツ（ヨガ・社交ダンス・フラダンス・卓球等）は公民館使用

2) 「公施設の先進的参考事例」

①大和市文化創造拠点シリウス

*コンセプトー図書館・芸術文化ホール・生涯学習センター・屋内子供広場

（4つの施設それぞれの個性の融合により、未来につながる創造力を育み、芸術文化活動の道標となり、市民の心に一体感を生み出す施設）

②人・まち・情報創造館武蔵野プレイス

*コンセプトーこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人と人が出会い、それぞれが持っている情報

（知識や経験）を共有・交換し、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）を活性化する活動支援型の公共施設

3) 行政主導での利用拡大の難しさ

・固定的・画一的な職員の雇用と配置を優先

・マーケット感覚に欠ける

・予算の用途が限られ、手続きが煩雑

・税金以外の資金調達ノウハウに欠ける

・「採算性を否定」という発想に安住

・「新しいこと、改革」を否定する人事評価

4) 公共施設に「場」が確保できていない「市民層」

- ・ 0 から 2 歳児の子育て「ママ友」
- ・ 部活動に属していない中高生
- ・ 65 歳以上の年金生活男性

5). 公共施設の今後の対応（リース方式等採用）

①時代の変化に対応するリース方式

- ・ 愛知県高浜市で採用
- ・ 10年・20年の変化を想定した事業構想と費用平準化
- ・ 期間設定が出来れば、投資金額と将来負担が明確になる
- ・ 投資にあった成果（建設費・時間コストの節減）
- ・ 事業担当者の経費節減

②国の動向

- ・ 庁舎・公共施設について、PFI・PPP・リース方式優先検討
- ・ 民間のノウハウと資金活用加速
- ・ 学校等において従来方式とリース方式組み合わせ（日本型 BOT）検討
- ・ サウンディング調査実施

6) 考察

公共施設については、総延床面積の削減が求められており、また、一方老朽化施設の更新が急務である。人口減少・少子高齢化を背景とし、公共施設の今後のあり方・イニシャルコスト・ランニングコスト・住民ニーズ等について、十分に検討する必要がある。

米子市においては、保育園の統廃合・体育館の統合・市営住宅の縮減等が最重要課題として議論されており、本研修で学んだ PPP・PFI・リース方式について提案していきたい。

また、「拡充」から「縮充」へを踏まえ、予てより提言している上水道・下水道の統合に向け、更に強く提言していきたい。

5. 「公会計改革と公共施設との緊密な関係」

- ・ 「カネ」はなくとも「資産」がある

1) 予算配分主義の限界

- ・ 配分原資の減少で、改革よりも削減優先
- ・ 縦割り組織と予算の削減で、発想は貧弱に
- ・ 減価償却費と人件費の概念がない公会計
- ・ 財務会計と管理会計の活用は未開拓領域
- ・ 補助金、地方債枠で、予算編成する財政課
- ・ 官庁会計では、将来負担を算定できない
- ・ 公共施設マネジメントが最大課題に
- ・ 財政健全化指標は参考になるのか
- ・ まだまだ活用できる「地方債充当事業」

- ・公会計改革で、事業「経営」が可能に

2) 予算・決算における議会の審議

- ・自治法による予算書のあり方（款・項・目・節・細節）
- ・事業別予算書において、人件費・減価償却費が記載されているか
- ・固定資産台帳の整備—資産の概念
- ・フルコストで示される決算データが評価指標に
- ・フルコストでの成果の評価で予算審議が必要
- ・資産活用について十分に議論

3) 民間委託（アウトソーシング）・指定管理者制度の促進

- ・働きの違い
- ・人件費が安い
- ・ランニング経費が安い
- ・清掃工場・し尿処理場等
- ・アウトソーシングによる効果の分析（人件費・物件費）

4) 「成果」税金（公金）を使う事業への説明責任

- ・事務事業のフルコスト（人件費・減価償却費込み）
- ・事業の対象者と想定される成果指標を設定する
- ・延べ人数ではなく、実人数を分析する
- ・実利用者一人あたりのコストを明確にする
- ・コストに見合う成果は何か

5) 今後の動向

- ・公共資産の最大限利用
- ・公民連携を基本にした事業構想の実施
- ・金融機関との連携強化
- ・公的プロジェクトファイナンスのあり方
- ・公民連携による事業採算の確保

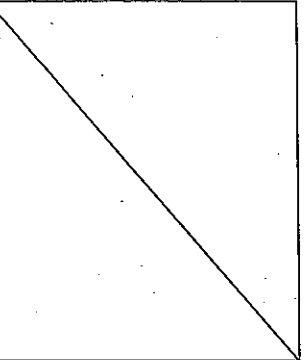
6) 考察

公共施設マネジメントの基本的課題は、限られた財源の中で、住民生活、行政運営に必要な施設の維持管理を適切に行うことであり、そのために、老朽化した施設の安全を確保しつつ、施設の利用率や稼働率を最大限に上げて、投資を含めた経費を最小にすることである。基本は「最小の経費で最大の効果」を創出する事である。

公有地拡大推進法により、自治体は土地を保有してきたが、今後は土地の有効活用を図るべきであり、「所有重視」から「活用重視」にシフトすべきである。

米子市においても各施設の統廃合・更新費用の増大化は喫緊の課題である。アウトソーシング積極的活用・公民連携・の促進及び企業会計の適正性等について、多角的見地から提言していきたい。

研修会行程 (会派：政英会 戸田議員)

月日	行程	宿泊地
2/4 (火)	<p>9:28 伯耆大山駅 11:38 岡山駅 11:53 岡山駅 12:54 京都駅</p> <p>==== JR 特急やくも 10号 岡山行 ==== JR 新幹線のぞみ 20号 東京行</p>	<p>京都センチュリーホテル ☎075-351-0111</p>
2/5 (水)	<p>研修会「成功する公共施設マネジメント」10:00~12:30 研修会「公会計改革と公共施設との緊密な関係」14:00~16:30 場所：メルパルク京都 (京都市下京区東洞院七条下ル東塩小路町676番13)</p> <p>16:49 京都駅 17:50 岡山駅 18:04 伯耆大山駅 20:21</p> <p>==== JR 新幹線のぞみ 41号 博多行 ==== JR 特急やくも 23号 出雲行</p> <p>* * 徒歩</p>	

旅費計算表

令和2年2月4日 ~ 令和2年2月5日 (1泊2日)

政英会(戸田議員) 研修会参加
 密な関係「成功する公共施設マネジメント、公会計改革と公共施設との関係」

月 日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地の までき 数	運賃	グリーン	急行料		当宿	泊料	
								特 別	新幹線		甲	乙
2/4 (水)	伯耆大山駅 ~ 岡山駅	JR				10,480	阪神早得割		議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円	
	~ (新大阪駅)	JR							随員1,100円	10,900円		9,800円
	~ 京都駅	JR				570						
2/5 (木)	京都駅 ~ (新大阪駅)	JR				570				1,500		
	~ 岡山駅	JR										
	~ 伯耆大山駅	JR										
計	議員 旅行費				31,932	11,620	0	0	4,600	3,000	12,712	0
	随員 旅行費											

出席議員 戸田隆次

議員 31,932 × 1名 = 31,932
 参加費 30,000 × 1名 = 30,000
 参加費振込手数料 770

合計 62,702 円